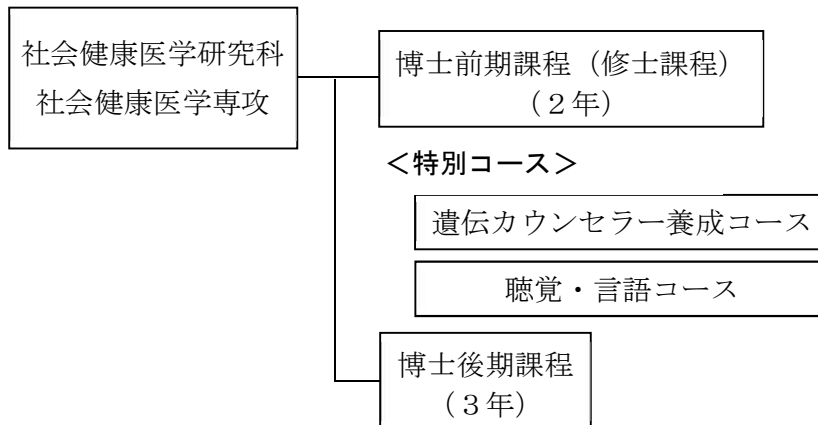


参考資料 1

1 本学の構成



※ 既設の修士課程に特別 2 つのコースを設置

2 博士前期課程の概要

開設年度	令和 3 (2021) 年 4 月 1 日～修士課程 (単独) 令和 5 (2023) 年 4 月 1 日～博士前期課程
募集人員	10 名程度
取得学位	修士 (社会健康医学) [Master of Public Health (MPH)]
単位数	42 単位 (MPH 必修 17+選択 21+課題研究 4、又は MPH 必修 17+選択 17+修士論文 8)
修学形態	パートタイム (講義は平日夜間・金曜午後・土曜が中心) 時間割は参考資料 2 参照
アドミッション ポリシー	<ul style="list-style-type: none">*健康と医療、環境に対する高い関心とリサーチマインドを持っている者 (情熱)*最新の研究成果や知見を活用して、既存の枠組みにとらわれることなく、新たな視点で課題を見つけ、解決に取り組むことのできる者 (発見する力)*医療や介護などの専門的知識に裏打ちされた貴重な経験を有し、健康課題に対して、実践的な解決策を提示しようとする者 (改革する力)*大学院修了後も、地域の医療・介護等の現場において、リーダーとして活躍し、健康寿命の延伸に寄与したいという意欲のある者 (実践する力)
養成する 人材像	社会健康医学の学識を社会に還元し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェSSIONALな人材
キャリアパス	<ul style="list-style-type: none">・医療に直接携わる職種・リサーチコーディネータ等の専門職・医療・福祉の専門職・企業 (製薬、バイオ系、データサイエンス系等)・官公庁等で活躍するスペシャリスト

3 遺伝カウンセラー養成コースの概要

開設年度	令和 6 (2024) 年 4 月 1 日
募集人員	若干名
取得学位	修士 (社会健康医学) [Master of Public Health (MPH)]
単位数	42 単位 (MPH 必修 17、コース必修 21、課題研究 4)
修学形態	フルタイム 時間割は参考資料 2 参照
備考	認定遺伝カウンセラー受験資格の取得が可能
アドミッション ポリシー	急速に臨床現場に実装されている最先端の遺伝医療に対応できる高度な専門的知識とスキルおよびコミュニケーション能力を有し、患者・血縁者の立場を理解して遺伝医療とのインターフェースとなりうる人材を総合的に養成する。新しい分野に挑戦したい意欲のある者を求める。

(参考) 認定遺伝カウンセラー

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報を提供し、心理的・社会的サポートを通して当事者の自立的な意思決定を支援する専門職 ・ 医療技術の提供、研究を行う立場とは一線を画し、独立した立場から患者を支援
資格種別	民間資格 (日本遺伝カウンセリング学会及び日本人類遺伝学会が共同で認定)
試験実施主体	認定遺伝カウンセラー制度委員会
受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定遺伝カウンセラー養成課程を修了し修士の学位を持っている者 ・ 受験申請時に日本遺伝カウンセリング学会または日本人類遺伝学会のいずれかの会員歴が 2 年以上継続している者

4 聴覚・言語コースの概要

開設年度	令和 5 (2023) 年 4 月 1 日
募集人員	若干名
取得学位	修士 (社会健康医学) [Master of Public Health (MPH)]
単位数	42 単位 (MPH 必修 17、コース必修 21、課題研究 4)
修学形態	パートタイム (講義は平日夜間・金曜午後・土曜が中心) 時間割は参考資料 2 参照
備考	修了時、本学独自の認定資格 (注) を付与
アドミッション ポリシー	社会健康医学は身体的疾病予防のみでなく、生涯にわたる精神的健康の保全を目指している。音声言語によるコミュニケーションは、その重要な要素である。音声言語コミュニケーションは聴覚障害によって困難となるが、現在は先天聾であっても人工内耳で音声言語獲得でき、老人性難聴のケアで認知症を予防できると期待されている。ただし、それは単独の技術のみでは実現できず、きこえの仕組みの理解から、各世代に対する聴覚補償のあり方、さらに言語発達、認知の仕組みなどの知識に基づいた実践や介入が必要である。聴覚障害やその解決への課題意識を持ち、体系的な基礎知識と実践能力の習得に意欲のある者を求める。

5 博士後期課程の概要

開設年度	2023 年（令和 5 年）4 月 1 日
募集人員	2 名
取得学位	博士（社会健康医学） [Doctor of Philosophy in Public Health]
修学形態	パートタイム（講義は土曜。研究指導は随時。） 時間割は参考資料 2 参照
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15 単位の履修 ・ 博士論文の最終審査に合格
アドミッション ポリシー	<p>人の健康や疾病に関わる課題を考究し、高度な学識を駆使して先端的課題の解決に取り組むことで未来社会を牽引する人材を育成するため、以下のような要件を備えた者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と医療・環境に対する高い関心と探究心を有し、新たな視点で課題を抽出するとともにその解決のために必要な研究の立案と遂行に意欲のある者 2. 社会健康医学の最新の研究成果や知見の社会実装化を通して健康課題の解決に取り組む意欲のある者 3. 社会健康医学の博士前期課程（修士課程）修了に相当する学識及び語学力をさらに向上させ、研究やその成果の実装化を介して学術領域の発展に寄与する意欲のある者
養成する 人材像	公衆衛生学のコア 5 領域はもとより、最新の生命科学や情報解析学など関連領域の学識を基本に、社会が必要とするエビデンスの導出とその社会実装を通じて広く人々の健康に貢献できる能力を身につけた研究者を育成する。
キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・ アカデミアで社会健康医学を考究するとともに後進の育成に携わる教育研究者 ・ 国や地方自治体の研究機関において行政施策の立案に必要なエビデンスの導出や施策の社会実装に資する研究者 ・ 医療機関において臨床医療に携わりつつもその環境を活かして最先端の社会健康医学に取り組む医師等に代表される臨床研究者 ・ 企業において臨床・予防医療に資する薬剤、製品、サービスの開発と社会実装に資する研究者
入学者選抜 方法	筆記試験（英語）、面接

入学者データ

【修士】（2021年～2024年度入学者）

①職種

職種	人数	割合	%
医師	32	0.4637681	46.4
保健師	9	0.1304348	13
会社員	6	0.0869565	8.7
看護師	4	0.057971	5.8
歯科医師	4	0.057971	5.8
薬剤師	4	0.057971	5.8
理学療法士	3	0.0434783	4.3
管理栄養士	1	0.0144928	1.4
その他	6	0.0869565	8.8
合計	69	1	100

②年代

年代	人数	割合	%
20	7	0.1014493	10.1
30	32	0.4637681	46.4
40	24	0.3478261	34.8
50	6	0.0869565	8.7
合計	69	1	100

③居住地

居住地	人数	割合	%	%
静岡県内	56	0.8115942	81.2	81.2
群馬県	1	0.0144928	1.4	18.8
長野県	1	0.0144928	1.4	
千葉県	1	0.0144928	1.4	
東京都	4	0.057971	5.9	
神奈川県	3	0.0434783	4.4	
愛知県	2	0.0289855	2.9	
京都府	1	0.0144928	1.4	
合計	69	1	100	100

入学者データ

【博士】（2023年～2024年度入学者）

①職種

職種	人数	割合	%
医師	5	0.4545455	45.4
会社員	3	0.2727273	27.3
その他	3	0.2727273	27.3
合計	11	1	100

②年代

年代	人数	割合	%
20	3	0.2727273	27.3
30	1	0.0909091	9.1
40	7	0.6363636	63.6
合計	11	1	100

③居住地

居住地	人数	割合	%
静岡県内	9	0.8181818	81.8
東京都	1	0.0909091	9.1
兵庫県	1	0.0909091	9.1
合計	11	1	100

参考資料 2 変更（案） 移動後

前 期																			
時限	前 半									後 半									夏季集中
	火	水		金		土				火	水		金		土				土
	－	講義室3	演習室2	講義室1	講義室2	講義室 1	講義室 2	講義室3	演習室2	－	講義室3	演習室2	講義室1	講義室2	講義室 1	講義室 2	講義室3	演習室2	講義室 2
1限							基礎医学講座 【菅原】									質的研究法 【森(寛)】			
2限						混合研究法 【八田】	健康・医療 ビッグデータ 概論 【竹内】		聴覚解剖・ 生理学特論 【古川】				臨床遺伝学 【末岡】	社会健康医学 倫理特論 【八田】	ヘルスコミュ ニケーション 概論 【山本】				
3限				休憩（50分）									休憩（50分）						
				高齢者運動・ リハビリテー ション論 【藤本】	社会健康医学 概論*1 【田原】	臨床試験 解析学 【 】	環境健康科学 ・産業衛生学 概論*1 【天笠】		聴覚心理学 特論 【古川】				循環器臨床・ 疫学研究概論 【田中(仁)】	社会健康医学 概論*1 【田原】	観察研究 解析学 【 】	環境健康科学 ・産業衛生学 概論*1 【天笠】		言語・認知・ 発達学特論 【古川】	
4限				健康・医療 ビッグデータ 特論 【竹内】	医科遺伝学 概論 【田原】	健康政策・医療 経済学特論 【高山】	文献検索法・ 文献評価法 【佐々木】	社会健康医学 特講 【田原】	音声言語科学 【古川】				精神保健学概 論・心理社会的 支援技術論 【天笠】	疫学概論 【小島原】	高齢者ケア 特論 【森(寛)】	社会健康医学 倫理概論 【八田】	社会健康医学 特講 【田原】	聴覚健康 政策論 【高木】	質的研究法特 講（M-GTA特 講） 【山崎】
5限				ヘルスコミュ ニケーション 特論 【満田】	プレゼンテー ション・ ライティング スキル 【藤本】	死生学 【山崎】	医療統計学 概論*1 【 】	博士課程 セミナー 【田原】	言語・聴覚学 特別演習Ⅱ*2 【Fehérvári】				診療ガイド ライン概論 【佐藤(康)】	健康政策・医療 経済学概論 【栗山】	ゲノム医学 (疾患と 遺伝子) 【臼井】	医療統計学 概論*1 【 】	博士課程 セミナー 【田原】	言語・聴覚学 特別演習Ⅲ*2 【Fehérvári】	
6限		休憩（40分）									休憩（40分）								
		聴覚療育・ リハビリテー ション論 【田中(智)】	聴覚解剖・ 生理学概論 【古川】		特別研究 リサーチ ミーティング					聴覚療育・ リハビリテー ション特論 【田中(智)】	聴覚心理学 概論 【古川】		特別研究 リサーチ ミーティング						

後 期																		
時限	前 半									後 半								
	火	水		金		土				火	水		金		土			
	講義室1	講義室 1	演習室 2	講義室1	講義室2	講義室 1	講義室 2	講義室3	演習室2	講義室1	講義室 1	演習室2	講義室1	講義室2	講義室 1	講義室 2	講義室3	演習室2
1限		医科遺伝学 演習*3 【臼井】					環境健康科学 ・産業衛生学 特論 【天笠】		知覚情報処理 演習*2		医科遺伝学 演習*3 【臼井】				健康情報学 【高山】		言語・認知・ 発達学 【古川】	
2限					遺伝カウンセ リング 【臼井】	オーラルヘル ス・プロモー ション 【佐藤(洋)】	臨床研究概論 【佐藤(康)】		【古川】						疫学・ゲノム 疫学特論 【田原】		言語・聴覚学 特別演習Ⅰ*2 【Fehérvári】	
3限				ヘルスケア ビジネス論 【藤本】	医科遺伝学 特論 【木下】	医療・ケア 組織論 【天笠】	高齢者ケア概論 【森(寛)】						システムディ ックレビュー 概論 【小島原】	生活習慣病 (生活習慣・ 遺伝子・環境) 【菅原】	公的統計 活用法 【佐藤(康)】		知覚・生体 計測演習*2 【古川】	
4限					健康医療 社会学*1 【山崎】		公衆衛生危機 管理論*1 【森(寛)】	社会健康医学 特講 【田原】	聴覚障害学 【高木】				健康医療 社会学*1 【山崎】	遺伝情報学 演習*3 【木下】	公衆衛生危機 管理論*1 【森(寛)】	社会健康医学 特講 【田原】		
5限	医科遺伝学 演習*3 【臼井】				行動医科学 【山本】		医療統計学 特論*1 【 】	博士課程 セミナー 【田原】		医科遺伝学 演習*3 【臼井】	ゲノム医学 演習*3 【臼井】		疫学研究・ 臨床研究特論 【田原】		医療統計学 特論*1 【 】	博士課程 セミナー 【田原】	認知科学概論 【古川】	
6限			聴覚検査法 【田中(智)】		特別研究 リサーチ ミーティング						ゲノム医学 演習*3 【臼井】	聴覚補償技術 【田中(智)】		特別研究 リサーチ ミーティング				

* 1：前半・後半通して行う科目

* 2：聴覚・言語コースの学生のみ履修可

* 3：遺伝カウンセラー養成コースの学生のみ履修可

* その他：講義室で行わない、フィールド実習、遺伝カウンセリング演習及び遺伝カウンセリング実習は除く。